

令和4年度(令和3年度実績)

鳥羽市教育委員会の事務に関する

点検・評価報告書

令和 5 年 1 月

鳥羽市教育委員会

目 次

第1章 基本事項

I 鳥羽市が目指す教育	1
II 教育委員会の事務に関する点検・評価	1
1. 趣旨	1
2. 点検・評価の対象	2
3. 点検・評価の方法	2

第2章 点検・評価事項

I 教育委員会の運営状況	3
1. 教育委員会の構成	3
2. 教育委員会の会議	4
3. 活動の周知及び情報発信	6
4. 教育委員の自己研鑽	9
5. 教育委員会だより	9
6. 情報公開について	10
7. 総合教育会議について	10
8. 教育委員会の運営に対する外部評価	11
II 「第2次鳥羽市教育ビジョン」の取り組み	12
【施策1】しっかり学ぶ子どもを育てる	12
【施策2】子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育の推進	20
【施策3】多様な個性を認め合う豊かな心と健やかな体を育てる	23
【施策4】地域・家庭とともにある園・学校づくり	31
【施策5】生涯学習やスポーツの推進	38

■ 第 1 章 基本事項

I 鳥羽市が目指す教育

多様な社会を生き抜く、

知性・感性・理性にあふれた健康な市民の育成

本市は「誰もがキラめく鳥羽 海の恵みがつなぐ鳥羽」を将来の都市像に掲げています。次代を担う本市の子どもたちは、その実現のための大きな力になることは間違いありません。子どもたちが輝く未来のために自分を磨き、人間性と創造力を豊かにし、社会参画意識と行動力を高めることができる環境を整えていくのは、大人の責務です。

本市では、「多様な社会を生き抜く、知性・感性・理性にあふれた健康な市民の育成」を目標とし、学校・園・家庭・地域のさらなる連携のもと、未知の課題へ直面する子どもたちに育むべき力を明確にし、取り組みを進めます。

そのために、学校教育を充実させ、地域全体で取り組む教育を推進し、生涯学習・スポーツの振興を図っていきます。

II 教育委員会の事務に関する点検・評価

1. 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する方の知見を活用した点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

教育委員会では、法の趣旨に則り、効率的かつ効果的な教育行政の推進を図るとともに、教育委員会の責任体制の明確化を図り、市民の方々への説明責任を果たすために、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、報告書として作成しました。

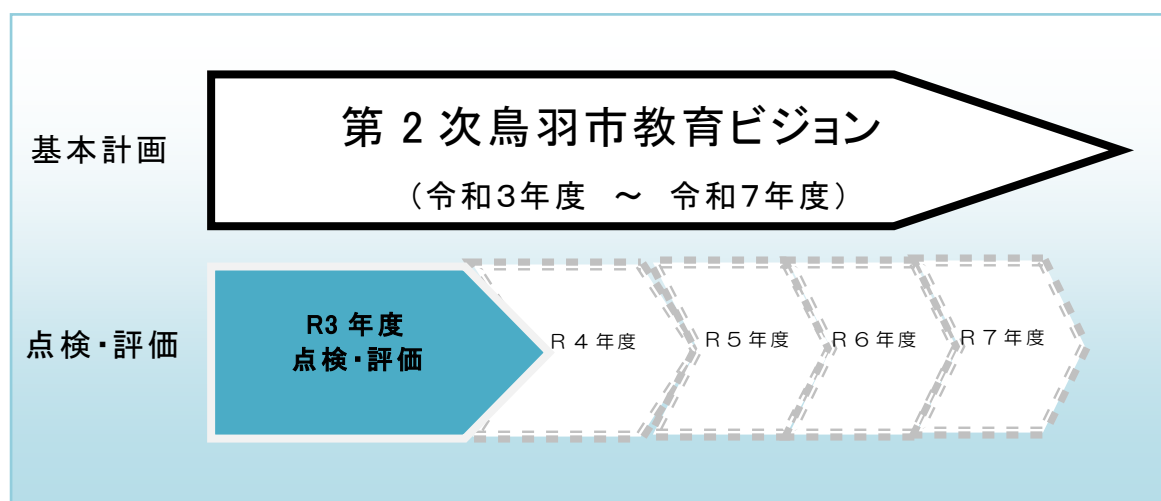
【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2. 点検・評価の対象

本報告書では、令和3年度鳥羽市教育委員会の運営状況および「第2次鳥羽市教育ビジョン（令和3年度～令和7年度）」に基づく、令和3年度の主な取組を点検・評価の対象としました。



3. 点検・評価の方法

教育委員会の運営状況および「第2次鳥羽市教育ビジョン」に基づいて行った令和3年度の事務（教育委員会が管理・執行する事務）に関し、成果指標などに基づいて自己評価を行った後、教育に関する学識経験者から意見聴取を行いました。

点検・評価報告書については、議会への報告と市ホームページへ掲載し、公表します。

【学識経験者（外部委員）名簿】

氏名（敬称略）	役職等
市田 敏之	皇學館大学准教授
福井 光生	元小学校長

■第2章 点検・評価事項

I 教育委員会の運営状況

1. 教育委員会の構成

令和3年度中の教育委員の交代は、江崎ユミ氏が任期満了により退任され、中島幸代氏が令和3年10月1日付けで就任しました。

【教育委員会名簿】

令和2年10月1日～

	氏 名	任 期	備 考
教育長	小竹 篤	令和元年10月1日 ～令和4年9月30日	
委 員	中村 和久	平成30年12月24日 ～令和4年12月23日	
委 員	浅尾 美沙	令和2年10月1日 ～令和6年9月30日	
委 員	江崎 ユミ	平成29年10月1日 ～令和3年9月30日	教育長職務代理者
委 員	奥村 楠治	令和元年10月1日 ～令和5年9月30日	

令和3年10月1日～

	氏 名	任 期	備 考
教育長	小竹 篤	令和元年10月1日 ～令和4年9月30日	
委 員	中島 幸代	令和3年10月1日 ～令和7年9月30日	
委 員	浅尾 美沙	令和2年10月1日 ～令和6年9月30日	
委 員	奥村 楠治	令和元年10月1日 ～令和5年9月30日	
委 員	中村 和久	平成30年12月24日 ～令和4年12月23日	教育長職務代理者

【教育委員会制度の概要】

- 教育委員会は、地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する機関として、全ての都道府県及び市町村等に設置。首長から独立した行政委員会としての位置づけ。
- 教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長が具体の事務を執行。

2. 教育委員会の会議

鳥羽市教育委員会会議規則の規定に基づき定例会を開催しています。

令和3年度は12回（定例会12回・臨時会0回）を開催し、合計48議案を審議、可決・承認しました。

小中学校での新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による休校措置や、感染予防などの緊急的な対応については、教育長と教育委員が随時連絡を取り合い対応を決定しました。

会議日程は、市の告示板に掲出しています。

【開催状況】（開催回数：定例会12回・臨時会0回、審議等議案数：48件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定例会 (議案)	1 (10)	1 (9)	1 (2)	1 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (4)	1 (5)	1 (2)	1 (1)	1 (11)	12回 (48件)
臨時会 (議案)													0回 (0件)

【主な内容】

期日	議案等	主な協議件名
4月定例会 (R3.4.27)	議案 (10件)	鳥羽市いじめ問題対策連絡協議会委員の任命について
		鳥羽市中心身障害児就学指導委員会委員の解委嘱について
		鳥羽市学校評議員の委嘱について
		菅島小学校学校運営協議会委員の委嘱及び任命について
		弘道小学校学校運営協議会委員の委嘱及び任命について
		神島小学校学校運営協議会委員の委嘱及び任命について
		答志小学校学校運営協議会委員の委嘱及び任命について
		地域学校協働活動推進委員の委嘱について
		東京2020オリパラ推進事業補助金交付要綱の制定について
		鳥羽市学校体育施設開放運営委員及び管理指導員の委嘱について
5月定例会 (R3.5.24)	議案 (9件)	鳥羽市部活動指導員の任用等に関する要綱の制定について
		鳥羽志摩地区教科用図書採択協議会委員の任命について
		鳥羽市文化財保護規則の一部改正について
		鳥羽市文化財調査委員の委嘱について
		鳥羽市スポーツ推進審議会委員の解委嘱について
		鳥羽市青少年サポートセンター指導員の委嘱について
		鳥羽市中央公民館分館主事の解任命について
		鳥羽市社会教育委員及び公民館運営審議会委員の解委嘱について
		鳥羽市放課後子ども総合プラン運営委員の委嘱について

6 月定例会 (R3. 6. 29)	議 案 (2 件)	鳥羽市小中学校結核対策委員会委員の委嘱について
		菅島小学校学校運営協議会委員の解委嘱について
7 月定例会 (R3. 7. 28)	議 案 (2 件)	答志小学校学校運営協議会委員の委嘱及び任命について
		令和 4 年度使用中学校用「歴史」教科用図書の採択について
8 月定例会 (R3. 8. 24)	議 案 (1 件)	鳥羽市立かもめ幼稚園預かり保育条例の一部改正についての意見の申出について
9 月定例会 (R3. 9. 29)	議 案 (1 件)	就学等に関する規則の一部改正について
11 月定例会 (R3. 11. 26)	議 案 (4 件)	鳥羽市学校設置条例の一部改正についての意見の申出について
		指定管理者の指定についての意見の申出について(鳥羽市民体育館他 6 施設)
		鳥羽市教育振興基本計画の令和 2 年度評価について
		令和 4 年度教職員人事異動基本方針(案) について
12 月定例会 (R3. 12. 21)	議 案 (5 件)	就学等に関する規則の一部改正について
		鳥羽市教育委員会公印規則の一部改正について
		鳥羽市学校給食共同調理場設置条例施行規則の一部改正について
		令和 4 年度土曜日の授業の実施 (案) について
		令和 3 年度(令和 2 年度実績)鳥羽市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について
1 月定例会 (R4. 1. 26)	議 案 (2 件)	委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についての意見の申出について
		指定管理者の指定についての意見の申出について(答志コミュニティアリーナ)
2 月定例会 (R4. 2. 24)	議 案 (1 件)	令和 4 年度教職員人事異動 (案) について
3 月定例会 (R4. 3. 22)	議 案 (11 件)	鳥羽東中学校区学校再編生徒通学費補助金交付要綱の一部改正について
		丸山庫蔵寺防災設備改修事業費補助金交付要綱の制定について
		フェンシング大会実行委員会補助金交付要綱の制定について
		鳥羽市学校内科医の委嘱について
		鳥羽市学校眼科医の委嘱について
		鳥羽市学校耳鼻科医の委嘱について
		鳥羽市学校歯科医の委嘱について
		鳥羽市学校薬剤師の委嘱について
		鳥羽市立海の博物館運営協議会委員の委嘱について
		鳥羽市社会教育指導員の任命について
		地域学校協働活動推進員の委嘱について

【議案の種別】

【議決の状況】（付議事項数：48件）	件数
① 教育に関する事務の管理及び執行の基本方針	4件
② 教育委員会規則、規程等の制定・改廃	10件
③ 学校及びその他教育機関の設置及び廃止	0件
④ 協議会・審議会委員等の任免・委嘱	27件
⑤ 教育委員会事務の点検・評価	1件
⑥ 議会提出議案に関する意見	5件
⑦ 教科用図書の採択	1件
⑧ 通学区域の設定・変更	0件
⑨ 文化財の市指定	0件
⑩ その他	0件

※ 上記議案のほか、教育ビジョンに基づく教育施策や、児童生徒の状況、コロナ禍における学校の運営や行事への対応、学校統合計画に関わる協議などを行いました。各会議の会議録については、市ホームページ上で公開しています。

3. 活動の周知及び情報発信

ホームページや広報とば、行政放送、とばメール等、様々な手段や方法により情報発信を行いました。

（１）鳥羽市ホームページのトップページにおいて、告知を行いました。

掲載月	所管課	内 容
R3.4	学校教育課	第2次鳥羽市教育ビジョンについて
R3.4	学校教育課	学びの基本・家庭学習の手引きについて
R3.5	生涯学習課	大人の集い（仮称）開催のお知らせ
R3.5	生涯学習課	地球塾第20期生の募集について
R3.10	総務課	幼稚園の入園募集について
R3.10	学校教育課	令和3年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組について
R3.10	生涯学習課	菅島灯台の国の重要文化財指定について
R3.11	学校教育課	三重県鳥羽市答志島「寝屋子の島留学事業」について
R3.12	生涯学習課	読書手帳の紹介について
R4.1	総務課	令和3年度高等学校通学費等補助金交付制度について
R4.2	学校教育課	市内小学校の新規感染者確認に伴う対応について
R4.3	学校教育課	令和4年度鳥羽市立小中学校土曜日の授業実施予定
R4.3	学校教育課	鳥羽市海洋教育カリキュラムについて

(2) 「広報とば」による情報発信を行いました。

掲載月	担当課	内 容 ・ 件 数
4 月 1 日 号	生涯学習課	・ 東京 2020 オリンピック聖火リレーについて ・ 鳥羽市運動施設指定管理者の変更について
	学校教育課	・ 鳥羽東中学校、長岡中学校、加茂中学校の制服が変わります。
5 月 1 日 号	生涯学習課	・ 三重とこわか国体売店出店者の募集 ・ 山田優選手東京 2020 オリンピック出場決定！ ・ 伊勢志摩の旅のおもいで海の聲（こえ）
	総 務 課	・ お知らせ 1件
6 月 1 日 号	生涯学習課	・ 「地球塾」塾生募集 ・ 募 集 1件
	学校教育課	・ 魚を食べようVol. 2～日本一魚をおいしく食べるまち鳥羽～骨付きの魚を上手に食べよう！ ・ お知らせ 1件
7 月 1 日 号	生涯学習課	・ フェンシング山田優選手を応援しよう！
8 月 1 日 号	生涯学習課	・ 鳥羽市・三田市「友好都市宣言」締結10周年記念シンポジウム「戦国を駆けた九鬼水軍～明らかになってきた九鬼氏の実像」を開催します！ ・ お知らせ 1件
9 月 1 日 号	生涯学習課	・ 山田優選手金メダル獲得おめでとうございます！ ・ 三重とこわか国体・三重とこわか大会の中止の申し入れについて
	学校教育課	・ みんなで守ろう！交通ルール
10月 1 日 号	生涯学習課	・ お知らせ 1件 ・ 募 集 1件
	総 務 課	・ 令和 4 年度幼稚園児・預かり保育園児募集 ・ お知らせ 1件
11月 1 日 号	生涯学習課	・ お知らせ 3件 ・ 募 集 1件
	学校教育課	・ お知らせ 1件
12月 1 日 号	学校教育課	・ 魚を食べようVol. 5～日本一魚をおいしく食べるまち鳥羽～鳥羽が好き！ふるさと給食
	生涯学習課	・ お知らせ 1件
1 月 1 日 号	生涯学習課	・ 第25回「海の香りのする詩」 ・ 山田優選手トークショー＆フェンシング教室
	学校教育課	・ お知らせ 2件 ・ 募 集 1件

2 月 1 日 号	生涯学習課	・令和3年度鳥羽市スポーツ優秀選手・優秀団体表彰者
	総務課	・お知らせ 1件
	学校教育課	・募集 1件
連 載	生涯学習課	・図書館だより ・人権文化の花を咲かせよう
	総務課 学校教育課 生涯学習課	生まれ変わる鳥羽の教育 ・新しい教育ビジョンの理念① ・新しい教育ビジョンの理念② ・持続可能な学校統合計画 ・地域と共にあるコミュニティ・スクール ・鳥羽セントラル中学校構想 ・一人1台タブレットで学習環境が大きく変わる！ ・英語教育を通したコミュニケーション力の育成 ・郷土学習のすすめ方 ・「郷土学習」から「海洋教育」へ ・一人一人に応じた教育・支援の在り方 ・未来に希望の矢を放とう！～「人財育成」こそが教育の使命～

(3) 「行政放送」による情報発信を行いました。

放送日		所管課	タイトル
5月1日 ～5月31日	お知らせ	総務課	令和3年度高校生通学費等補助金制度について
1月11日 ～2月18日	お知らせ	総務課	令和3年度高校生通学費等補助制度のご案内について

(4) 「とばメール」やフェイスブックなどを活用し、各種事業のお知らせ、啓発活動を行いました。

4. 教育委員の自己研鑽

研修会への参加や時報「市町村教委」を定期購読し、教育行政の理解を深めるとともに、積極的に各学校の現場へ出向き、子どもたちとのふれあいや学校の現状把握を行うなど、委員活動の充実に努めました。

また、関係機関と連携した活動や定期的な勉強会の開催など、委員間の意見交換や情報共有を通じて、自己研鑽に努めました。

開催日	内 容	場 所
R3. 6. 11	三重県教科書用図書選定審議会	県総合文化センター
R3. 7. 2	鳥羽高校活性化協議会	鳥羽高等学校
R3. 7. 12	教科用図書採択委員会	志摩市役所
R3. 7. 13	鳥羽市いじめ問題対策連絡協議会	市民体育館
R3. 10. 7	南勢地区教育長会議	オンライン
R3. 11. 22	市長・教育長・教育委員とPTAの語る会	鳥羽商工会議所かもめホール
R4. 3. 22	第1回鳥羽市総合教育会議	鳥羽市役所
年間	・ 学校訪問等 24件 ・ 勉強会 11件	各市内学校等 教委会議室等

5. 教育委員会だより

教育委員会の機関紙である「教育委員会だより」を年に2回発行し、教育委員会に関する活動の情報発信を行いました。

【発行状況】発行回数：2回（10月・4月）

発刊月	内 容
10月 (第22号)	・ 三重とこわか国体・三重とこわか大会のシンボルとなる炬火の採火イベントを開催 ・ 令和3年度教育予算の概要 ・ フェンシング協会理事長の紹介 ・ 海洋教育の推進 ・ 良きパートナーとして～鳥羽市運動施設の指定管理業務にあたって～ ・ 会社活動で毎日をおもしろく（鳥羽小学校の取り組み）
4月 (第23号)	・ ありがとう、長岡中学校！ ・ 令和4年度教育予算の概要 ・ 成人式実行委員長との対談 ・ ボランティアサークル「虹の会」（鳥羽東中学校の取り組み） ・ 長岡中学校の思い出を永遠に（閉校記念事業の紹介）

6. 情報公開について

教育委員会が管理・執行する事務に係る情報公開請求の実績は、下記のとおりでした。

・ 行政情報の公開状況

件数	全部公開	部分公開	不受理
5	5	0	—

・ 個人情報の公開状況

公開請求無し。

7. 総合教育会議について

総合教育会議は、市長と教育委員会の対等な執行機関同士が協議・調整を行う場として、平成27度から開催されています。

令和3年度は3月22日に開催され、市長と教育委員が「支援を必要とする児童・生徒の現状」や、「中学校の部活動指導員の配置」、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」等の内容について協議しました。

また、SDGsを背景とした海洋教育の推進や、英検チャレンジ受験の結果等について意見交換を行いました。

8. 教育委員会の運営に対する外部評価

教育委員会の運営状況等に関係する外部委員からの意見等は、下記のとおりでした。

【委員からの意見等】

<委員 A>

- 法令に従い教育委員会が構成され、会議が実施されています。教育委員会活動の周知・情報発信や教育委員の自己研鑽、情報公開についても適切に行われています。

<委員 B>

- 例年をベースとしながら適切に実施されています。教育ビジョンが一新されたことで、「広報とば」の連載を通じて、広く市民への啓発活動が積極的になされています。
- 新型コロナウイルス感染症が依然として世界規模で収まりの見えない中、感染症対策を講じながら、教育委員の自己研鑽としての学校訪問を例年のように実施できたことは素晴らしいことです。現場に出向いたからこそ気付かれた教育課題もあったと思われますので、今後、積極的に教育委員会の会議での議事、議案に反映されることを期待したいと思います。

Ⅱ 「第2次鳥羽市教育ビジョン」の取り組み

多様な社会を生き抜く、知性・感性・理性にあふれた健康な市民の育成

【計画の体系】

【施策1】しっかり学ぶ子どもを育てる

- (1) 基礎学力と情報活用能力を育成する教育
- (2) 英語教育を通してコミュニケーション能力を育てる教育

【施策2】子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育の推進

- (1) 自尊感情と郷土愛を育む教育
- (2) 環境問題や農水産業を柱とした海洋教育

【施策3】多様な個性を認め合う豊かな心と健やかな体を育てる

- (1) 多様性やグローバル化へ対応した教育
- (2) 個に応じた支援を通して誰一人取り残さない教育
- (3) 健康や体力の向上に視点を当てた教育

【施策4】地域・家庭とともにある園・学校づくり

- (1) 地域とともに歩む園・学校の教育
- (2) 家庭・地域と連携した幼児教育
- (3) 安全・安心・快適な教育環境の整備

【施策5】生涯学習やスポーツの推進

- (1) 社会教育施設の充実と活用
- (2) 感性を育むアートに親しむ創作機会や環境の創出
- (3) 人材や文化財を活用した生涯学習
- (4) 生きがいと活力を育む生涯スポーツの推進

【施策1】しっかり学ぶ子どもを育てる

(1) 基礎学力と情報活用能力を育成する教育

- ① 確かな学力と意欲を定着させる
- ② 学校・園・家庭・地域の連携
- ③ 新しい学習課題への取組
- ④ 誰一人取り残さない学びの保障

【主な取組と成果】

① 確かな学力と意欲を定着させる

学力向上推進事業

令和3年度決算額	24 千円	令和2年度決算額	26 千円
----------	-------	----------	-------

児童・生徒の学力向上を図るため、全国学力・学習状況調査などの結果を基に学力向上委員会では指導方法を協議し、授業の改善に努めました。

また、新学習指導要領改訂のポイントと課題となることを学び、市内各校に広げていけるよう努めました。

へき地教育振興事業

令和3年度決算額	163 千円	令和2年度決算額	143 千円
----------	--------	----------	--------

へき地複式教育に関わる団体への補助を行い、へき地複式校における教育環境の整備支援を行いました。

児童生徒支援事業

令和3年度決算額	1,820 千円	令和2年度決算額	1,623 千円
----------	----------	----------	----------

理科教育振興事業（小学校）

令和3年度決算額	209 千円	令和2年度決算額	270 千円
----------	--------	----------	--------

理科教育振興事業（中学校）

令和3年度決算額	128 千円	令和2年度決算額	187 千円
----------	--------	----------	--------

小・中学校における理科・算数（数学）教育の充実を図るため、各学校の実態に応じた教材備品を整備しました。

② 学校・園・家庭・地域の連携

教育振興管理事業

令和3年度決算額	10,710 千円	令和2年度決算額	15,698 千円
----------	-----------	----------	-----------

「地域とともにある学校づくり」の推進を図るため、小学校にコミュニティ・スクール（学校運営協議会）を設置し、保護者や地域の方々が協働して、教育活動や学校運営ができる仕組みづくりを行いました。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和3年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査の正答率	全国平均と ほぼ同じ	全国平均より 小学校 △ 9.5ポイント 中学校 + 3.0ポイント	全国平均を3ポイント 以上上回る
授業の内容は「よくわかる」の回答率	小学校 36.7% 中学校 34.3%	小学校 39.9% 中学校 34.9%	小学校 60% 中学校 60%

○学校別児童・生徒数（令和3年5月1日現在）

<小学校>

区分 学校名	児童数（人）	学級数		
		普通	特別支援	計
鳥羽	168 (18)	6	4	10
答志	49 (1)	5	1	6
神島	10 (0)	3	0	3
菅島	16 (1)	2	1	3
加茂	111 (7)	6	2	8
安楽島	250 (5)	10	1	11
弘道	55 (4)	6	1	7
計	659 (36)	38	10	48

（注）（ ）内の数は、特別支援学級児童数（内数）、学級数は実学級数

<中学校>

区分 学校名	生徒数（人）	学級数		
		普通	特別支援	計
鳥羽東	236 (4)	8	2	10
答志	29 (0)	3	0	3
神島	9 (1)	3	1	4
加茂	60 (1)	3	1	4
長岡	38 (1)	3	1	4
計	372 (7)	20	5	25

（注）（ ）内の数は、特別支援学級児童数（内数）、学級数は実学級数

<幼稚園>

区分 幼稚園名	園児数（人）				学級数
	3歳児	4歳児	5歳児	計	
かもめ	6	8	15	29	3

○学校別教職員数（令和3年5月1日現在）

<小学校>

（単位：人）

区分 学校名	校長	教頭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	計
鳥羽	1	1	14	1	0	1	18
答志	1	1	7	1	1	1	12
神島	0	1	3	1	0	1	6
菅島	1	1	3	1	1	1	8
加茂	1	1	9	1	0	1	13
安楽島	1	1	15	1	0	1	19
弘道	1	1	8	1	0	1	12
計	6	7	59	7	2	7	88

<中学校>

（単位：人）

区分 学校名	校長	教頭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	計
鳥羽東	1	1	20	1	1	1	25
答志	1	1	6	1	0	1	10
神島	1	1	6	0	0	0	8
加茂	1	1	7	1	0	1	11
長岡	1	1	7	1	0	1	11
計	5	5	46	4	1	4	65

<幼稚園>

（単位：人）

区分 幼稚園名	園長	教諭	計
かもめ	1	5	6

③ 新しい学習課題への取組

④ 誰一人取り残さない学びの保障

小学校教育振興事業	令和 3 年度決算額	7,213 千円	令和 2 年度決算額	2,937 千円
中学校教育振興事業	令和 3 年度決算額	5,073 千円	令和 2 年度決算額	2,606 千円
コンピュータ教育事業	令和 3 年度決算額	2,252 千円	令和 2 年度決算額	24,035 千円
高度情報通信システム利用教育事業	令和 3 年度決算額	3,577 千円	令和 2 年度決算額	38,476 千円
教職員研修事業（小学校）	令和 3 年度決算額	422 千円	令和 2 年度決算額	280 千円
教職員研修事業（中学校）	令和 3 年度決算額	302 千円	令和 2 年度決算額	50 千円

各小・中学校に必要な各種教材備品の購入をはじめ、公立学校情報機器整備費補助金を活用し、GIGA スクール構想に伴う児童・生徒に 1 台ずつタブレット端末を購入したほか、関連する ICT 機器の購入や通信ネットワーク環境の整備、タブレット端末管理に係るサポート業務の契約など、ICT 教育環境の整備を図りました。

〔 教職員研修事業 〕

鳥羽志摩教育研究会や市教育研究推進校への補助を通して教職員の資質向上を図りました。また、各校からの授業研究に係る指導主事への派遣要請を受け、授業に対しての指導及び助言を行いました。

○令和 3 年度鳥羽市教育研究推進校： 菅島小学校

○研究主題：『主体的に学習し、ともに学び合う子どもの育成』

～確かな「学力」を育む複式授業～

○令和 3 年度指導主所要請訪問回数： 30 回（小学校 7 校延べ数）

17 回（中学校 5 校延べ数）

【自己評価と今後の取組み】

成果指標としている全国学力・学習状況調査の児童・生徒アンケートと鳥羽市独自のアンケート調査結果を実績値として活用したことにより、計画目標値と比較しました。言語活動については、学級の友だちとの間で話し合う活動を「よく行っている・行っている」と肯定的に回答している小学生が 72.3%、中学生が 72.3%であるので、今後さらに活動の充実を目指すこととします。

めあて・ねらいについては、「めあて」について「よく行った」は小学校は 88.9%、中学校は 76.2%、「振り返る活動」については小学校は 57.9%、中学校は 75.2%となっています。数値は改善していますが、小・中学校ともにまだまだ課題があります。引き続き指導・助言を行い、授業の基本の流れの中に取り入れていきたいと考えています。

「授業内容がよく分かりますか」については、鳥羽市独自のアンケート調査より、「よくあてはまる」という回答は、「あてはまる」も含めた肯定的な回答は小学校で 85.2%、中学校で 81.9%となっており、80%以上の児童・生徒にとって、分かりやすい授業が展開されているといえます。今後も、より分かりやすい授業を充実させていくために、学力向上委員会等をとおして、授業改善に努めます。

学習ボランティアについては、「三重県教育委員会事務局の大学生等の教育アシスタント活用事業」を活用して各校から募集を行いましたが、コロナ禍により実施が困難な結果となりました。今後も、鳥羽市独自の学習サポーターや学習ボランティアの配置を目指し、授業等でのきめ細かな指導に努め、児童・生徒一人ひとりの学力向上を図っていきます。

成果指標に対して計画目標値を達成することはできませんでしたが、今後も『確かな学力』（「基礎的な知識・技能」「知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力」

「学習に取り組む意欲」）の向上をめざし、指導方法及び学力向上のための取組みの結果を検証・評価し、指導方法及び取組みの改善を図ります。今、社会においては、問題を解決する力、困難を乗り越える力、コミュニケーション力といった、変化の激しい時代を生き抜くための力が求められています。このため、「基礎的・基本的な知識・技能」に加え、それらを活用して課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力等」、さらには「主体的に学習に取り組む態度(学びに向かう力)」を学力の重要な3要素ととらえ、その育成を図ります。特に、「何を理解しているか、何ができるか」「理解していること・できることをどう使うか」、「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」の視点から必要な資質・能力を身につけられるよう、「どのように学ぶか」を重視した授業実践を心がけます。

【委員からの意見等】

＜委員 A＞

■全体として取組みに不適切な部分はありません。ただし、小学校の全国学力・学習状況調査の正答率や授業の内容については、「よくわかる」と回答する者の割合が目標値に足りていないことから、学校現場において授業を充実させるための支援策を講じることが求められます。

＜委員Ｂ＞

■全国学力・学習状況調査において、中学校が＋３ポイントであったことは素晴らしいと思います。しかし、小学校が△９．５ポイントであったことは真摯に受け止め、その偶然性か必然性かの詳細分析は、小・中連携の育成という視点からしっかり取り組んでください。

■複式学級授業の先進自治体として、その取り組みは、他の市町、学校の貴重かつ価値ある実践であります。今後も、さらなる発信を続けていただくことで、本市の子どもたちへフィードバックされることを期待したいと思います。

■新型コロナ対策として、タブレットの活用は有効であったと思われます。半面、友だちとの間で話し合う活動を「よく行っている・行っている」との回答が昨年度より、小学校で約１８ポイント、中学校で約１５ポイント下落していることについて、タブレットの使い始めで不慣れであったことは理解できるものの、来年度に向けて慎重に考察をしてください。

（２）英語教育を通してコミュニケーション能力を育てる教育

- ① 新しい学習課題への取組
- ② 英語を用いたコミュニケーション活動の推進
- ③ 小中で一貫した英語教育のための研修の実施
- ④ 鳥羽ならではの授業スタイルの構築

【主な取組と成果】

① 新しい学習課題への取組

英語検定チャレンジ事業

令和３年度決算額	991 千円	令和２年度決算額	610 千円
----------	--------	----------	--------

児童・生徒の英語への興味、関心を引き出し、積極的に英語でコミュニケーションを図る力を育むため、小・中学校にて公費による英検 Jr と英検に挑戦しました。

○ 英検 Jr 小学校 6 年生 125 人

○ 英検 中学校 1 年生 94 人 中学校 2 年生 118 人 中学校 3 年生 56 人

② 英語を用いたコミュニケーション活動の推進

外国人英語指導業務委託事業

令和３年度決算額	13,238 千円	令和２年度決算額	12,870 千円
----------	-----------	----------	-----------

かもめ幼稚園及び市内小・中学校に ALT（外国人英語指導助手）3 人を派遣し、外国語指導の補助や子どもたちとの触れ合いを通して、園児や児童・生徒のコミュニケーション能力の向上と国際感覚の育成を図りました。

また、鳥羽小学校にて、英会話で一日を過ごす「イングリッシュデイ」を鳥羽ロータリークラブと共催しました。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和 3 年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
中学 3 年生の英検 3 級以上合格率	37.1 %	47.6 %	60.0 %

③ 小中で一貫した英語教育のための研修の実施

④ 鳥羽ならではの授業スタイルの構築

【自己評価と今後の取組み】

- ・ 令和 3 年度より ALT（外国人英語指導助手）を 3 人配置することで、英語と触れ合う時間が増えました。
- ・ 児童・生徒の学習到達度に応じた「個別最適」の学びを実現するために、英語科では、AI 機能付き学習端末を導入し、朝の学習時間や、家庭学習を使用した短時間で効率の良い学習ができ、児童・生徒の学習の進捗状況が一目でわかるなど、良い効果がありました。今後は日常の学習に関連させ、より効果が発揮できるように研修を進めます。

【委員からの意見等】

<委員 A>

■英語教育を通してコミュニケーション能力を育てる教育には、十分な予算措置のもと、着実に成果を挙げつつあると評することができます。効果的な施策の継続を望みます。

<委員 B>

■厳しい財政事情の中、ALT（外国人英語指導助手）を一人増員し 3 人体制をとり、各学校等に終日派遣できるようになったことは、園児、児童・生徒の英語コミュニケーション能力の育成に役立つと思われ、教育委員会の英語教育への積極性を感じました。

【施策2】子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育の推進

(1) 自尊感情と郷土愛を育む教育

- ① 「人権感覚あふれる学校づくり」の推進と人権教育・学習の充実
- ② 系統性を持った人権教育の取組
- ③ 地域の魅力を伝える教育
- ④ 郷土の良さを紹介できる子どもの育成
- ⑤ 地域の環境や人材を活かした体験活動の推進
- ⑥ 食材を通して地域の良さを再確認し郷土愛を育む食育

【主な取組と成果】

- ① 「人権感覚あふれる学校づくり」の推進と人権教育・学習の充実
- ② 系統性を持った人権教育の取組

学校人権教育事業

令和3年度決算額	102 千円	令和2年度決算額	105 千円
----------	--------	----------	--------

鳥羽市人権教育推進委員会と鳥羽市人権フォーラム実行委員会を中心に、各小・中学校における人権教育を推進し、「鳥羽市人権フォーラム」を開催しました。

人権フォーラムでは、児童・生徒の取組みについて、発表や意見交換を行うことで、人権問題を再認識し、感性を高めることができました。

○ 人権フォーラム参加児童・生徒人数 小学生 21 人（7 校） 中学生 21 人（5 校）

- ③ 地域の魅力を伝える教育
- ④ 郷土の良さを紹介できる子どもの育成
- ⑤ 地域の環境や人材を活かした体験活動の推進

人材育成講座「地球塾」事業

令和3年度決算額	17 千円	令和2年度決算額	0 千円
----------	-------	----------	------

地球塾事業は、31名の塾生の申し込みがあり、全5回の開催予定のうち3回の講座を実施することができましたが、2回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で中止しました。

市内小学4年生から6年生までを対象に実施している「とばっこ検定」については、4・6年生の検定はオンライン形式で実施し、5年生は引き続き、海の博物館でウォークラリー

一形式で行い、4年生から6年生までの全員が検定に合格しました。

また、出前講座は4校で実施しました。

⑥ 食材を通して地域の良さを再確認し郷土愛を育む食育

学校給食運営事業	令和3年度決算額	29,563 千円	令和2年度決算額	32,193 千円
学校給食運営事業（中央調理場）	令和3年度決算額	59,970 千円	令和2年度決算額	59,246 千円

学校給食法に基づき、児童・生徒の心身の健全な発達を目的として、栄養バランスのとれた学校給食を提供し、食生活全般を通じた食育の推進を図りました。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和3年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
とばっこ検定合格率	100 %	100 %	100 %
鳥羽市の食材（農水産物等）使用率	27.5 %	15.8 %	30.0 %

【自己評価と今後の取組み】

- ・ 人権フォーラムを開催し、児童・生徒が自分の思いを伝え、友だちの思いを聞き、考えを深める取り組みを進めました。
- ・ 島っ子ガイドをはじめ、各小・中学校において地域を学び発信する取り組みを進めています。今後は、コミュニティ・スクールディレクターを活用し、地域と学校が連携した取り組みを進めていきます。
- ・ 地元食材を活用した「鳥羽が好きふるさと給食」で、自然の豊かさと生産者の思いを学ぶ食育の授業を行いました。今後も食材を通して地域の良さを再認識し、郷土愛を育む食育を進めます。
- ・ とばっこ検定は、3学年で実施を始めて2年目を迎えました。令和3年度からオンライン形式を一部導入し、円滑に実施することができたと感じています。

【委員からの意見等】

＜委員A＞

■ 人権教育、郷土愛教育についての施策は、コロナ禍においてもできる限りの実施がなされています。学校給食への地元食材の使用については実績値が低い結果となっています。食材費の高騰が理由であるとのことですが、学校給食を通じて地域の良さを確認するという趣旨を実現すべく、財政部局との調整を期待したいと思います。

＜委員Ｂ＞

■地域について熟知するコミュニティ・スクールディレクターを、今後も大いに利用していただき、教員だけでは気づけなかった地域人材の発掘を進めてもらうことで、子どもたちの郷土愛の育成につながればと思います。

（２）環境問題や農水産業を柱とした海洋教育

① 海洋教育の推進

【主な取組と成果】

海洋教育推進事業

令和３年度決算額	68 千円	令和２年度決算額	0 千円
----------	-------	----------	------

各校にて、鳥羽市水産研究所の見学や海に関する校外学習、郷土学習などに取組み、海洋教育を推進するために組織化した「海洋教育準備委員会」で、それぞれの施設が持つ資源を利用したカリキュラムづくりを検討するなど、海洋教育の推進を図りました。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和３年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
海洋教育（郷土教育）のカリキュラム化	小学校4～6年 100%	小学校4～6年 100%	幼小中全学年 100%

【自己評価と今後の取組み】

- ・各校が行う独自の海に関する学びを継続して取り組む（活力ある学校づくり推進事業）とともに、市内の海に関する研究機関、学習機関を活用した学びを進めました。
- ・市内外の有識者や海に関する関係機関と連携し、海洋教育推進委員会を組織し、各関係機関が作成したカリキュラムを基に市内小・中学校で学びを進めます。
- ・年度末に完成した海洋教育カリキュラム内にある３３のコンテンツの中から、各校が取り組めるように推進していきます。

【委員からの意見等】

＜委員Ａ＞

■海洋教育について、着実に充実させつつあると評することができます。海洋教育は、鳥羽市の特徴ある教育活動へと発展する見込みが高い活動であると思われます。したがって、中・長期的な視点で展開できるよう、教育委員会として取り組みを続けていただきたいと思います。

<委員B>

■海に面していないが、森と海との関連性がある加茂地区を含めて、海洋教育として全学校が独自の海に関する学びに取り組むことは、漁業に関わる産業人口の減少の歯止めにはならないかもしれないが、将来も鳥羽市に住み続けたい子どもたちのモチベーションにつながるものとして評価できます。

【施策3】多様な個性を認め合う豊かな心と健やかな体を育てる

(1) 多様性やグローバル化へ対応した教育

- ① 人権教育・学習の充実
- ② 道徳教育の推進
- ③ 多文化共生教育の推進
- ④ 安全安心でおいしい給食の提供

【主な取組と成果】

- ① 人権教育・学習の充実
- ② 道徳教育の推進

学校人権教育事業

令和3年度決算額	102 千円	令和2年度決算額	105 千円
----------	--------	----------	--------

鳥羽市人権教育推進委員会と鳥羽市人権フォーラム実行委員会を中心に、各小・中学校における人権教育の推進を行い、鳥羽市人権フォーラムを開催しました。

人権教育推進事業

令和3年度決算額	2,246 千円	令和2年度決算額	2,243 千円
----------	----------	----------	----------

市内小学校を会場に、お手玉や紙芝居を使った人権学習会のほか、新型コロナウイルス感染症に関わる人権講演会を開催しました。

○ 講演会・学習会 開催回数 3回 参加者数 534人

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和3年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査での「自分にはよいところがある」(自尊感情)と答えた割合(肯定的な回答の割合)	小学校 74.0% 中学校 70.9%	小学校 72.3% 中学校 66.9%	小学校 85.0% 中学校 80.0%

③ 多文化共生教育の推進

外国人英語指導業務委託事業	令和3年度決算額	13,238 千円	令和2年度決算額	12,870 千円
---------------	----------	-----------	----------	-----------

かもめ幼稚園及び市内小・中学校にALT（外国人英語指導助手）3人を派遣し、外国語指導の補助や子どもたちとの触れ合いを通して、園児や児童・生徒のコミュニケーション能力の向上と国際感覚の育成を図りました。

④ 安全安心でおいしい給食の提供

学校給食運営事業	令和3年度決算額	29,563 千円	令和2年度決算額	32,193 千円
学校給食運営事業（中央調理場）	令和3年度決算額	59,970 千円	令和2年度決算額	59,246 千円

学校給食法に基づき、児童・生徒の心身の健全な発達を目的とした栄養バランスのとれた学校給食を提供し、食育の推進を図りました。

【自己評価と今後の取組み】

- ・ 自己肯定感を高めることは、どの学校でも課題となっています。これまでも取り組んできましたが、子どもたち一人ひとりと教師がつながり、教師が授業や学校生活を通じて児童・生徒同士をつなげていく取組みを続けていきます。
- ・ 毎月給食調整会議を行い、献立の検討をはじめ情報共有に努めました。
- ・ 学校給食の調理業務については民間委託を行い、衛生管理基準を遵守しながら安心安全な給食の提供を行いました。

【委員からの意見等】

<委員A>

- 人権教育、多文化共生教育ともに継続的な取り組みが実施されています。学校給食についても、食育の推進を含めて適切に実施されています。
- 子どもの自尊感情に関する指標については改善がみられませんが、学校・家庭・地域等の複眼的視点から検討を行い、教育委員会としての支援につながるよう施策を展開することを期待します。

<委員B>

■200 近くある国の中、世界で民主的な国家・地域は 30 か国未満とされています。人権、多文化共生等の価値観は、よりその重要性を増しています。自己肯定感を高める取り組みと有機的に関連付けて取り組んでいただきたいと思います。

(2) 個に応じた支援を通して誰一人取り残さない教育

- ① 特別支援教育の充実
- ② 不適応・不登校児童生徒への支援の推進
- ③ 学びのセーフティネットの構築

【主な取組と成果】

① 特別支援教育の充実

特別支援教育体制整備事業

令和 3 年度決算額	15 千円	令和 2 年度決算額	30 千円
------------	-------	------------	-------

障がいのある児童・生徒の特別支援教育を総合的に推進するため、専門的知識や経験を有する巡回相談員を派遣しました。

特別支援教育就学対策事業（小）

令和 3 年度決算額	652 千円	令和 2 年度決算額	837 千円
------------	--------	------------	--------

特別支援教育就学対策事業（中）

令和 3 年度決算額	109 千円	令和 2 年度決算額	195 千円
------------	--------	------------	--------

心身に障がいのある児童の適切な就学を図るため、関係機関との連携及び特別支援学級、通級指導教室設置校の機能の充実を図りました。

心身障がい児就学指導事業

令和 3 年度決算額	0 千円	令和 2 年度決算額	12 千円
------------	------	------------	-------

小・中学校に入学予定で、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の保護者に適切な就学指導をするため、心身障害児就学指導委員会（医師、教員、保育士など 10 人で構成）を年間 9 回開催しました。

② 不適応・不登校児童生徒への支援の推進

教育支援センター事業	令和3年度決算額	991 千円	令和2年度決算額	1,193 千円
------------	----------	--------	----------	----------

様々な理由で不登校となるなど、学校生活に悩みをもつ児童・生徒の実態に即した指導や支援を行いました。

児童・生徒の自立支援を行うため、教育支援センターHARPに専任指導員（みえ発達障がい支援システムアドバイザー）1人と会計年度任用職員1人を配置し、通級する児童・生徒へ生活指導や学習支援などを行いました。

また、学校への定期的な訪問や集団への不適応や不登校傾向にある児童・生徒に支援を行いました。

児童生徒支援事業	令和3年度決算額	1,820 千円	令和2年度決算額	1,623 千円
----------	----------	----------	----------	----------

子どもたちが、心にゆとりをもって学校生活が送れるよう、気軽に悩みなどを相談できる「心の教室相談員」を学校と教育支援センターHARPに3名配置しました。

授業や休み時間など、様々な状況で子どもたちの様子を観察し、積極的に子どもたちと会話することで、心の安定に努めることができました。

○ 心の教室相談員配置校：加茂小、弘道小、鳥羽東中、加茂中、教育支援センターHARP

③ 学びのセーフティネットの構築

就学援助事業（小学校費）	令和3年度決算額	5,927 千円	令和2年度決算額	5,492 千円
--------------	----------	----------	----------	----------

就学援助事業（中学校費）	令和3年度決算額	6,552 千円	令和2年度決算額	6,401 千円
--------------	----------	----------	----------	----------

高校生修学支援事業	令和3年度決算額	3,196 千円	令和2年度決算額	3,350 千円
-----------	----------	----------	----------	----------

経済的理由により、就学することに支障をきたしている児童・生徒の保護者に対して、就学に係る必要な経費を扶助するなど、経済的援助を行いました。

また、地理的条件などで、遠距離通学をしている生徒の保護者に対しても、通学費を補助するなど、経済的負担の軽減を図りました。

子育て支援及び教育における経済的負担の軽減を図ることを目的に離島高校生への通学

費及び下宿費の一部を補助しました。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和3年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
特別な支援を必要とする通常学級在籍児童 ・生徒の個別指導計画作成の割合	62.9 %	64.2 %	100 %

【自己評価と今後の取組み】

- ・ 特別な支援を必要とする子どもたちの自立と社会参画に必要となる力の育成に向け一人ひとりの状況に応じた合理的配慮の提供及び学びの支援が必要であり、子育て支援室など関係機関と連携した途切れのない支援を進めています。
- ・ 不適応、不登校傾向の児童・生徒に対し、教育支援センターHARP に専任指導員（みえ発達障がい支援システムアドバイザー）1人と会計年度任用職員1人を配置し、通級する児童・生徒への生活指導や学習支援、保護者からの教育相談などを行いました。
- ・ 経済的な理由により就学に支障をきたすことのないよう、必要な経費について扶助を行いました。
- ・ 今後も様々な理由により支援が必要な児童・生徒に向けて、一人ひとりの状況に応じた合理的な配慮の提供と学びの支援を行います。

【委員からの意見等】

<委員A>

■個別の児童・生徒、家庭を対象とする支援を中心に、総じて適切に事業が実施されています。とはいえ、「①特別支援教育の充実」について、多くの事業で令和3年度決算額が令和2年度決算額と比較して少ない支出となっています。このことが、成果指標である「特別な支援を必要とする通常学級在籍児童・生徒の個別指導計画の作成の割合」の向上が低位に留まっている要因の一つと推認されます。個別の児童・生徒、家庭を対象とした事業を充実させるとともに、学校への支援を充実することを通じて個に応じた支援のさらなる発展を期待します。

<委員B>

■個別の支援・対応を必要としたり、不登校となったりする児童・生徒の割合が、年々増加している現状を鑑み、就学指導委員会や教育支援センター等の関係機関との情報共有、連携、支援を丁寧に行い、様々なニーズに対応できる体制づくりがとられています。今後も、様々な課題がある児童・生徒の実態に即して、よりきめ細かい指導、支援を執り行ってもらい、健やかな心身を持つ子どもの育成に結び付けてもらいたいと思います。

（３）健康や体力の向上に視点を当てた教育

- ① 豊かな心と健やかな体を育てる
- ② コーディネーショントレーニングの推進
- ③ 学校部活動の在り方についての検討

【主な取組と成果】

① 豊かな心と健やかな体を育てる

学校音楽祭事業（小学校費）	令和３年度決算額	0 千円	令和２年度決算額	0 千円
---------------	----------	------	----------	------

学校音楽祭事業（中学校費）	令和３年度決算額	0 千円	令和２年度決算額	0 千円
---------------	----------	------	----------	------

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市内の小・中学校が集う音楽祭を中止としました。

学校図書館整備事業	令和３年度決算額	4,774 千円	令和２年度決算額	4,884 千円
-----------	----------	----------	----------	----------

小・中学校の学校図書館に司書を派遣し、児童・生徒が本と親しめるコーナーの設置やイベントを開催しました。また、図書担当教員への指導や助言、図書館を利用した授業を推進するなど、子どもたちの文章力や読解力の向上に努めました。

活力ある学校づくり推進事業（小学校費）	令和３年度決算額	803 千円	令和２年度決算額	1,228 千円
---------------------	----------	--------	----------	----------

活力ある学校づくり推進事業（中学校費）	令和３年度決算額	882 千円	令和２年度決算額	851 千円
---------------------	----------	--------	----------	--------

特色ある学校事業を实践させることにより、児童の活力を引き出す学校づくりを推進しました。各学校において、校外学習や地域に開かれた学校づくりの取り組みを行い、体験を通して学ぶ児童・生徒活動を推進しました。

○令和３年度各校の主な活動内容

<小学校>

- ・鳥羽小学校 地域と共にある学校づくり推進事業、芸術鑑賞会、読書活動充実事業
- ・答志小学校 郷土再確認海洋関係活動、海の子フェスタ

- ・神島小学校 島っ子太鼓活動事業、神島っ子ガイド、子どもゲーター祭り
- ・菅島小学校 「島っ子ガイド」事業、地域とともにある学校づくり推進事業など
- ・加茂小学校 人権文化推進事業、地域産業体験事業
- ・安楽島小学校 地域体験学習（アサリの養殖体験）、芸術鑑賞会、情報教育の推進
- ・弘道小学校 地域ふるさと学習、芸術鑑賞、学力向上

< 中学校 >

- ・鳥羽東中学校 人権感覚育成事業、地域と学校をつなぐ教育活動推進事業
- ・答志中学校 ワカメ養殖体験学習、藻場再生体験学習、講演会・体験学習
- ・神島中学校 人権学習推進事業、地域交流事業、芸術工芸体験事業
- ・加茂中学校 キャリア教育推進事業、安全教育推進事業、文化活動奨励事業
- ・長岡中学校 開かれた学校推進事業、職業体験学習事業、文化活動奨励事業

② コーディネーショントレーニングの推進

生涯スポーツ振興事業

令和3年度決算額	3,943 千円	令和2年度決算額	10,620 千円
----------	----------	----------	-----------

コーディネーショントレーニングについては、前年度に引き続きモデル校の答志小学校において、オンライン形式により実施しました。

コーディネーショントレーニング・・・脳と体幹に刺激を与えることで運動の器用さを高めるとともに、その土台となる運動学習能力を養うトレーニング。

③ 学校部活動の在り方についての検討

中学校管理業務

令和3年度決算額	11,382 千円	令和2年度決算額	11,254 千円
----------	-----------	----------	-----------

鳥羽東中学校へ部活動指導員を2名配置し、教職員の時間外労働の縮減と生徒への専門的な指導を行いました。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和3年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
園児への図書年間貸出冊数（一人当たり）	65.0 冊	70.0 冊	70.0 冊
児童への学校図書年間貸出冊数（一人当たり）	46.6 冊	46.5 冊	50.0 冊
生徒への学校図書年間貸出冊数（一人当たり）	4.7 冊	3.5 冊	10.0 冊
コーディネーショントレーニングに取り組む学校の割合	92.3 %	81.8 %	100.0%

【自己評価と今後の取組み】

- ・ 鳥羽東中学校へ部活動指導員（男子テニス部・文化部）の配置を行い、教職員の時間外労働の縮減と生徒への専門的な指導を行いました。次年度以降も継続した取り組みを行います。

【委員からの意見等】

<委員A>

- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中で、できる限りの事業が展開されたと認められます。中学校生徒の一人あたり学校図書年間貸出冊数が目標値と大幅に乖離しているので、魅力ある学校図書室の実現を支援する施策を教育委員会として展開いただきたいと思います。

<委員B>

- 豊かな心を育てる活動として、各学校で企画、運営していた芸術鑑賞活動を、低学年、高学年に分けて一括して実施したことは、子どもたちの発達特性に配慮できたとともに、より質の高いものを提供できるよい方策であったと思います。
- 部活動指導員の導入は、子どもたちの専門的な活動を可能にした施策だと思うので、今後も可能な範囲で積極的に指導員を登用していただきたいと思います。ただ、職員の時間外労働時間の縮減については、上がってくる数値と実態との乖離が有るか無いかを丁寧に検証する必要を感じます。
- 読書は脳を鍛えるためのツールとして重要な物ですが、学校図書の年間貸出冊数について、児童は変化がないものの、生徒は令和元年度に比べて4.7冊から3.5冊と、その落ち込みの割合が大きいと認識します。令和7年度の生徒の10冊という目標値達成に向けた、効果的な取り組みを期待します。

【施策４】地域・家庭とともにある園・学校づくり

（１）地域とともに歩む園・学校の教育

- ① 「地域とともにある学校づくり」の推進
- ② 地域の特色を活かした学校運営協議会活動の推進

【主な取組と成果】

① 「地域とともにある学校づくり」の推進

教育振興管理事業

令和３年度決算額	10,710 千円	令和２年度決算額	15,698 千円
----------	-----------	----------	-----------

「地域とともにある学校づくり」の推進を図るため、小学校にコミュニティスクール（学校運営協議会）を設置し、学校・家庭・地域が連携、協働した教育活動や学校運営を行いました。（菅島小学校・神島小学校・弘道小学校・答志小学校）

放課後子ども教室推進事業

令和３年度決算額	576 千円	令和２年度決算額	585 千円
----------	--------	----------	--------

地域の参画を得ながら、加茂小学校区の「かもっこ」、安楽島小学校区の「あらっこ」、鳥羽小学校区の「とびっこ」などの放課後子ども教室を開催し、放課後の安全安心な居場所づくりに努めました。

青少年サポートセンター運営事業

令和３年度決算額	42 千円	令和２年度決算額	1,721 千円
----------	-------	----------	----------

サポートセンターの運営体制を変更し、サポートセンター主任を事務局職員が兼務して運営しました。行政、学校、家庭、警察から推薦をいただいた64人を指導員として委嘱しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、例年行っていた赤崎まつりや、みなとまつりの開催が中止となったことから夜間パトロールも中止になりました。

② 地域の特色を活かした学校運営協議会活動の推進

活力ある学校づくり推進事業

令和３年度決算額	803 千円	令和２年度決算額	1,228 千円
----------	--------	----------	----------

特色ある学校活動を実践することで、児童の活力を引き出す学校づくりを推進しました。

- ・ 神島小学校 神島っ子ガイド
- ・ 菅島小学校 島っ子ガイド

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和3年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
学校運営協議会設置小学校数	1 校	4 校	7 校
郷土学習をもとにしたガイド活動などの発信活動を実施した小学校数	2 校	3 校	7 校

【自己評価と今後の取組み】

- ・ 少子化に伴い、学校運営が成り立たなくなっていることから、地域の方々に学校運営に携わっていただき、教育活動を進めていく必要があります。
- ・ 地域の特色や体験学習などを行い、子どもたちが地域について学ぶことにより、地域の未来について考え行動する力を身につけ、発信することにより、持続可能なものにしていく取り組みを進めます。

【委員からの意見等】

<委員 A>

■学校運営協議会を設置する学校が増加したことで、従来以上に地域の実情に応じた学校運営・教育活動の展開を実施する体制が整備されつつあると思われます。ただし、学校運営協議会の導入期においては、その制度意図や具体的な活動例についての具体像が共有されにくいと思われるので、例えば他市町の先進事例を紹介する等、教育委員会からの積極的な情報提供を期待します。

<委員 B>

■それぞれの地区の特性を踏まえて「地域の学校」として、そこに住む方々の知識・経験・技能を活用できるシステムの構築、発展はとても大事な事だと考えます。

(2) 家庭・地域と連携した幼児教育

- ① 幼稚園における教育の充実
- ② 家庭・地域との連携の推進
- ③ 子どもの発達等の多様性に対応した教育の提供
- ④ 将来を見据えた公立幼稚園のあり方

【主な取組と成果】

① 幼稚園における教育の充実

幼稚園教諭の資質向上を目指し、2学期に「指導主事」等の要請訪問を行い、幼児教育で大切な5つの領域をねらった実践の充実を図りました。また、幼小中の連携として交流活動や相互の授業参観などを実施しました。

幼稚園管理業務

令和3年度決算額	44,038 千円	令和2年度決算額	42,942 千円
----------	-----------	----------	-----------

② 家庭・地域との連携の推進

生活習慣チェックシートの活用や保健だよりを発行するなど、子どもたちの様子を家庭に伝え、家庭での様子を聞かせてもらう「対話的」な関わり合いができました。

③ 子どもの発達等の多様性に対応した教育の提供

「みえ発達障がい支援システムアドバイザー」との連携により、子どもの情報を共有することができました。また、3学期には小学校へ入学する子どもたちの情報を確実に共有するため、学校教員に引き継ぐ場を設けることができました。

④ 将来を見据えた公立幼稚園のあり方

幼稚園への入園希望者が減少傾向にある中、本市における幼児教育・保育の運営体制等に関して、早急に検討していく必要があります。現施設の安全性や保育所の動向等を踏まえながら、「鳥羽市子ども子育て会議」を始めとした関連機関に対して、積極的に課題を投げかけていきます。

【自己評価と今後の取組み】

- ・かもめ幼稚園の令和3年度の在園児数は、29名と前年に比べ7名の減少となりました。一方で預かり保育を希望する園児数は23名と割合が高く、共働き世帯の増加による保育ニーズの高まりが顕著なものとなっています。保育所を所管する子育て支援室との連携を深め、今後の幼児教育・保育施設の適正配置と運営体制について、早急に検討を進め、計画的な認定こども園化等への移行を進めていきます。
- ・特別な支援を要する就学前の子どもに関する情報を各校・園・所と共有し、鳥羽市就学指導委員会において、外部専門機関の助言等を踏まえ、個に応じた最適な学びが提供できるよう取り組んでいきます。また、今後も保幼小中の連携が確実に行われるよう働きかけを継続していきます。

【委員からの意見等】

<委員A>

■現状の幼児教育を充実させるための支援は十分に行われていると評することができます。また、将来を見据えてのあり方の検討についても、引き続き家庭や地域と十分に連携し、理解を得ながら展開していくことを求めたい。

<委員B>

■幼稚園の入園児の減少から、鳥羽市の幼児教育・保育の運営体制の見直しは緊急課題であると思います。

（３）安全・安心・快適な教育環境の整備

- ① 災害に強い学校づくり、人づくり
- ② 学校の適正規模・適正配置
- ③ 学校施設の長寿命化の推進
- ④ 学校、幼稚園施設の機能向上
- ⑤ ICTの基盤整備と利活用の促進
- ⑥ 学校における働き方改革の推進

【主な取組と成果】

- ① 災害に強い学校づくり、人づくり

学校安全総合支援事業

令和3年度決算額	1,701 千円	令和2年度決算額	1,320 千円
----------	----------	----------	----------

各離島に地震体験車を派遣し、液状化現象の実験や消火器体験、講演会の開催などで、防災教育の推進を図りました。

各小・中学校では、「鳥羽市防災・減災プラン集 明日へのつばさ」を活用し、授業の実践を行ったほか、ESD（持続可能な開発のための教育）の視点に立った防災・減災教育について、及川幸彦氏を招き、教職員や指導者に向けた講演会を開催しました。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和3年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
地震や津波など災害時に地震がとるべき行動や避難場所ができていない児童・生徒の割合	—	100 %	100 %

② 学校の適正規模・適正配置

令和3年2月に策定した「鳥羽市小中学校統合計画」（令和3年度～令和12年度）では、小学校の適正配置となる学校数は7校で、中学校の適正配置となる学校数は2校と示しています。

加茂中学校と鳥羽東中学校との学校統合を見据え、加茂地区の自治会を対象とした懇談会を実施し、加茂小学校PTA委員会等にも説明に伺いました。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和3年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
市内小・中学校数	小学校 8校 中学校 5校	小学校 7校 中学校 4校	小学校 7校 中学校 2校

③ 学校施設の長寿命化の推進

中学校管理業務

令和3年度決算額	80,084 千円	令和2年度決算額	51,136 千円
----------	-----------	----------	-----------

中学校管理業務
(繰越明許費)

令和3年度決算額	5,361 千円	令和2年度決算額	0 千円
----------	----------	----------	------

令和3年3月に策定した「鳥羽市教育施設等長寿命化計画」に基づき、中学校では建築後43年を経過する「鳥羽東中学校」の大規模改修を計画しました。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和3年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
長寿命化に向けた施設改修の実施施設数	—	小学校 0校 中学校 0校	小学校 1校 中学校 1校

④ 学校、幼稚園施設の機能向上

小学校管理業務

令和3年度決算額	75,009 千円	令和2年度決算額	79,190 千円
----------	-----------	----------	-----------

中学校管理業務

令和3年度決算額	80,084 千円	令和2年度決算額	51,136 千円
----------	-----------	----------	-----------

中学校管理業務 (繰越明許費)	令和3年度決算額	5,361 千円	令和2年度決算額	0 千円
幼稚園管理業務	令和3年度決算額	44,038 千円	令和2年度決算額	42,942 千円

時代に応じた快適な学習環境の構築を目指し、鳥羽小学校の洋式便座（9基）を暖房機能を備えたものに取り換えるほか、加茂小学校及び弘道小学校に網戸を設置しました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、普通教室や学習室、スクールバス等に抗ウイルス・抗菌コーティング加工を施しました。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和3年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
小・中学校、幼稚園における児童・生徒・園児用トイレの洋式化率	52%	57%	65%

⑤ ICTの基盤整備と利活用の促進

高度情報通信システム利用教育事業	令和3年度決算額	3,577 千円	令和2年度決算額	38,476 千円
コンピュータ教育事業	令和3年度決算額	2,252 千円	令和2年度決算額	24,035 千円

GIGAスクール構想における児童・生徒向け一人1台端末整備に伴う通信ネットワーク環境や端末管理に係るサポート業務契約などのICT教育環境を整備しました。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和3年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
校務支援システム導入校数	—	小学校 0校 中学校 0校	小学校 7校 中学校 2校

⑥ 学校における働き方改革の推進

「鳥羽市立学校における教育職員の在校時間の上限等に関する規則」及び「鳥羽市立小・中学校における教育職員の在校時間の上限等に関する方針」に基づき、教職員の業務負担の軽減を図り、限られた時間の中で授業の改善や子どもたちと向き合う時間の確保に努めました。

【自己評価と今後の取組み】

- 学校の適正規模・適正配置については、令和3年4月に鏡浦小学校と安楽島小学校を統合し、令和4年4月には長岡中学校と鳥羽東中学校の統合を行いました。統合後の通学手段としてスクールバスの運行を行うなど、安全な通学の確保に努めています。統合計画では鳥羽東中学校と加茂中学校の統合を予定していますが、通学路の安全確保が前提となっていることから、継続した地区懇談会等を進めるとともに、通学路整備による安全対策や通学手段の検討を行っていきます。また、統合先となる鳥羽東中学校の校舎改修を計画的に進め、施設の長寿命化と、より良い教育環境の整備を図っていきます。
- 時代に応じた快適な教育環境を構築していくため、令和3年度には、鳥羽小学校において児童用トイレの温便座化を行ったほか、新型コロナウイルス感染症予防策として全ての小・中学校の普通教室や学習室、スクールバス等に抗菌・抗ウイルスコーティングを施工しました。引き続き、教職員トイレの洋式化や、空調設備の整備、照明のLED化など、学校・園施設の機能向上を図っていきます。
- 校務のICT化による教職員の負担軽減や業務効率化を図るとともに、情報管理の一元化によるセキュリティ向上のため、令和4年度に校務支援システムの導入を行い、令和5年度からの本稼働を目指します。
- 学校における働き方改革の推進では、ICT教育の推進、スクールサポートスタッフの活用、部活動ガイドラインの遵守等により、令和2年度と比べ時間外労働時間が小学校で月平均1時間、中学校で1.8時間の削減となりました。今後、さらにICT教育環境の整備、効果的な人的配置、教職員の意識改革を進め、総勤務時間縮減に取り組んでいきます。

【委員からの意見等】

<委員A>

■学校の適正配置を含めた学校施設設備の充実については中・長期的視点から計画的に実施されていると判断できます。また、ICT環境の充実についても、前年度から引き続きGIGAスクール構想に則り、適切に展開されています。学校における働き方改革については、学校現場の実情を踏まえた上で、より積極的な支援を展開することが必要とされます。

<委員B>

■各学校が取り組んでいる「防災・減災」教育の推進にとって「鳥羽市防災・減災プラン集 明日へのつばさ」は有意義なものであります。一方、作成されてからの時間経過もあり、活用のマンネリ・硬直化の傾向もあるのではないのでしょうか。より効果的なものとなるよう実態検証を行う必要がある時期ではないかと思えます。

■働き方改革に取り組んで久しくなってきました。部活動ガイドラインの導入、さらに管理職を始め、ミドルリーダー等の意識も変革でき、数値的にも小・中学校ともに縮減ができています。教職員の心身の健康の視点に立ち、実際の勤務実態との整合を点検してもらいたいと思えます。

【施策 5】生涯学習やスポーツの推進

(1) 社会教育施設の充実と活用

- ① 鳥羽市立図書館の充実
- ② 文化財の展示収蔵施設の整備・活用
- ③ 公民館やコミュニティアリーナの活用

【主な取組と成果】

① 鳥羽市立図書館の充実

図書館運営事業

令和 3 年度決算額	2,252 千円	令和 2 年度決算額	24,035 千円
------------	----------	------------	-----------

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、トイレ等の手洗い水栓を自動化に改修し、安心して利用できる環境を整えました。

運営面では、「第 3 次子ども読書活動推進計画」に基づき、小・中学校へのブックトークや団体貸出を実施するほか、図書館での絵本と紙芝居の読み聞かせ、おはなし会等を開催し、読書に親しむ機会づくりに努めました。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和 3 年度 (実績値)	令和 7 年度 (目標値)
鳥羽市立図書館の来館者数	75,704 人	62,555 人	78,000 人

② 文化財の展示収蔵施設の整備・活用

文化財保存推進事業

令和 3 年度決算額	9,900 千円	令和 2 年度決算額	7,619 千円
------------	----------	------------	----------

文化財収蔵展示施設運営管理費

令和 3 年度決算額	2,799 千円	令和 2 年度決算額	2,799 千円
------------	----------	------------	----------

平成 26 年度から国の補助事業として実施している登録有形文化財「旧鳥羽小学校校舎」の保存活用事業では、令和 3 年度に外壁修理を実施しました。また、田城々跡・岩屋山古墳の案内看板を設置しました。また、展示施設の一つである「鳥羽大庄屋かどや」では、指定管理により管理運営を行いながら、様々な展示やイベント・教室などを開催しました。

③ 公民館やコミュニティアリーナの活用

公民館維持管理事業

令和 3 年度決算額	9,230 千円	令和 2 年度決算額	6,977 千円
------------	----------	------------	----------

公民館活動推進事業

令和3年度決算額	464 千円	令和2年度決算額	581 千円
----------	--------	----------	--------

コミュニティアリーナ維持管理事業

令和3年度決算額	3,250 千円	令和2年度決算額	2,792 千円
----------	----------	----------	----------

文化系施設（集会施設）は、公民館分館 20 施設とコミュニティアリーナ 4 施設があります。施設面では、老朽化が進むなか、修繕に必要な経費は年々増加傾向となっています。令和3年度は、中央公民館池上分館のフェンス撤去と防球ネットの設置に着手したほか、坂手分館の浄化槽の漏水箇所を修繕するなど、危険性・緊急性事案に対して迅速に対応しました。

また、離島地域における地域・学校のスポーツ活動、生涯学習の活動拠点として、幅広く利用されているコミュニティアリーナの維持管理に努めました。

【自己評価と今後の取組み】

- ・ 図書館では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で延期や中止となる行事もありましたが、一部利用制限を設け、感染症対策に取り組みながら開館するなど、サービスの継続を実施しました。今後も環境の整備と資料の充実に努めます。
- ・ 文化財は旧鳥羽小学校を中心に市内の指定文化財等の保存事業を実施しました。今後も引き続き、旧鳥羽小学校の改修やその他文化財の維持管理、調査等を行います。
- ・ また、地域の交流の場として、公民館やコミュニティアリーナの維持管理を行います。

【委員からの意見等】

<委員 A>

■社会教育施設の充実・活用については、適切・十分に施策が展開されています。引き続き、住民ニーズに沿った施策を充実していただきたいと思います。

<委員 B>

■新型コロナウイルス感染症による各施設の活動中止が多かったことはやむを得ないものでありました。今後はウィズコロナの視点で、少しずつ活動の幅が広がるような工夫をお願いしたいと思います。

（２）感性を育むアートに親しむ創作機会や環境の創出

- ① アートに触れ合う
- ② 市民との交流の創出
- ③ 展示場・アトリエの整備

【主な取組と成果】

① アートに触れ合う

市民文化祭を開催するため、鳥羽市文化協会へ補助をする予定で準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となりました。

② 市民との交流の創出

生涯学習推進事業

令和3年度決算額	1,260 千円	令和2年度決算額	185 千円
----------	----------	----------	--------

生涯学習特別講座の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で実施が困難となったため、市の歴史文化を学ぶ機会の創出として、非接触で学ぶことのできる市の文化財を紹介する動画を3本制作しました。また、新成人11人の実行委員会を中心に、新成人式典を企画し163人が参加しました。

③ 展示場・アトリエの整備

博物館運営事業

令和3年度決算額	1,260 千円	令和2年度決算額	185 千円
----------	----------	----------	--------

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、手洗い水栓を自動化に改修し、安心して利用できる環境を整えました。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和3年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
アート関係のワークショップ参加者数	0 人	0 人	200 人

【自己評価と今後の取組み】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、対面で行う講座や多くの人が集まる市民文化祭の開催は中止となりましたが、引き続き子どもたちや市民の方々に、モノづくりや文化芸術作品に接する機会を提供していきます。

【委員からの意見等】

＜委員A＞

■新型コロナウイルス感染症を理由とする講座等の中止はやむを得ないと判断できません。感性を育むアートに親しむ創作機会や環境の創出は政策としては重要な観点ですので、新型コロナウイルス感染症の収束後には積極的な事業展開を実施していただきたいと思います。

<委員B>

■新型コロナウイルス感染症による活動中止が多かったことは、やむを得ないものであります。今後はウィズコロナの視点で、交流、活動が広がることを願っています。

(3) 人財や文化財を活用した生涯学習

- ① 生涯学習活動の充実
- ② 地域人材の発掘・育成
- ③ 文化財の保存と活用の推進
- ④ 市の歴史文化遺産の語り部の育成

【主な取組と成果】

① 生涯学習活動の充実

現在、生涯学習講座は、運動施設指定管理者の自主事業として開講されています。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和3年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
生涯学習講座から新たに立ち上がる自主活動の数	0 件	0 件	5 件

② 地域人材の発掘・育成

社会教育関係団体育成事業

令和3年度決算額	796 千円	令和2年度決算額	1,277 千円
----------	--------	----------	----------

社会教育団体の活動に対して補助金を交付し、各団体の自主的な活動を支援し、歴史、文化の継承や青少年等の健全育成を図りました。青少年育成市民会議では、子どもたちへ伝統文化に触れる機会を創出するため、みんなで凧作り教室、新春凧あげ大会を開催しました。また、恐竜研究振興会では、門野幾之進記念館において鳥羽竜の展示や化石レプリカ作りを行いました。

③ 文化財の保存と活用の推進

登録有形文化財である旧鳥羽小学校校舎の外壁改修工事のほか、周辺環境の整備に努めました。また、菅島灯台の重要文化財指定に向け、調査等を行いました。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和3年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
指定文化財の数	72 件	72 件	75 件

④ 市の歴史文化遺産の語り部の育成

友好都市提携事業

令和3年度決算額

1,013 千円

令和2年度決算額

0 千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、鳥羽城主九鬼氏をテーマにしたシンポジウムや人材育成を目的とした地球塾の一部講座を中止としました。

【自己評価と今後の取組み】

- ・生涯学習講座については、市指定管理者において多様な講座を実施しています。今後も指定管理者と協議を行い、より良い講座が実施できるように努めます。
- ・多くの人を対象に地域の歴史文化を周知するため、九鬼氏のシンポジウムを計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて中止となるなど、思うように講座が実施できない状況でした。今後も状況をみながら、人材育成のための講座を企画していきます。

【委員からの意見等】

<委員A>

■生涯学習活動の充実にあたって、住民の自主的活動や外部人材の登用は重要なポイントとなり得ます。その観点からみれば、生涯学習講座から立ち上がる住民による自主活動が0件であったことは看過することは出来ないものの、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、やむを得ないと思われます。新型コロナウイルス感染症収束後には、教育委員会による積極的支援を実施し、住民の自主活動が広く展開されることを望みます。

<委員B>

■積極的にコミュニティ・スクールディレクターを活用して、埋もれている人材の発掘に努め、需要と供給のバランスよく進むことを期待します。

(4) 生きがいと活力を育む生涯スポーツの推進

- ① スポーツ活動に取り組める環境づくり
- ② 地域スポーツと学校部活動の連携
- ③ 運動と食事・栄養への取組
- ④ 表彰制度の拡充
- ⑤ ジュニアスポーツ応援事業
- ⑥ 三重とこわか国体の開催とレガシーの継承
- ⑦ スポーツ用具などの計画的な整備
- ⑧ 市民がつながる機会づくり

【主な取組と成果】

① スポーツ活動に取り組める環境づくり

生涯スポーツ振興事業	令和3年度決算額	3,943 千円	令和2年度決算額	10,620 千円
学校体育施設開放事業	令和3年度決算額	1,332 千円	令和2年度決算額	1,332 千円
学校体育振興事業	令和3年度決算額	2,485 千円	令和2年度決算額	817 千円

各スポーツ団体は、感染状況に応じた制限や対策を講じながら、活動に取り組みました。小・中学生等が大会に参加し、さらに全国大会へ出場するなど活躍も目立ちました。

また、コーディネーショントレーニングでは、前年度に引き続きモデル校の答志小学校でオンライン形式で授業を行ったほか、鳥羽市小学校体育研究会と連携し、講習会を実施しました。

項目	回数（回）	参加者延べ人数（人）
鳥羽市小学校相撲大会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
障がい者スポーツ教室	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
コーディネーショントレーニング	10 回	対象人数 1.2.3 年生 20 人 4.5.6 年生 29 人
学校体育施設開放校数（校）	9 校	18,913 人

② 地域スポーツと学校部活動の連携

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革では、令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域へ移行することとなっています。

次年度以降は、鳥羽市部活動検討委員会を設置し、生徒にとって望ましい部活動の在り方と学校の働き方改革を考慮した部活動の段階的な地域移行の協議を進めていきます。

③ 運動と食事・栄養への取組

子どもたちへのスポーツ指導を担う鳥羽市スポーツ少年団及び三重県スポーツ少年団に登録する指導者を対象とした講習会を開催し、「発育・発達における指導」や「スポーツに関連する医科学的知識」などを学ぶ機会を創出することができました。

次年度以降は、各スポーツ団体や市健康福祉課等とも連携し、市民の体力向上・健康増進に努めていきます。

④ 表彰制度の拡充

市民体育大会事業

令和 3 年度決算額	19 千円	令和 2 年度決算額	146 千円
------------	-------	------------	--------

「東京 2020 オリンピック」のフェンシング競技エペ団体で、本市出身の山田優選手が金メダルを獲得し、その栄誉を称えるため創設した「鳥羽市民栄誉賞」の初受賞者となりました。

今後は、全国大会優勝や国際大会出場等の優秀な成績を収めた選手の表彰とその功績を称えるため、引き続き表彰制度の基準作りを進めていきます。

項目	選手	団体
スポーツ優秀選手・団体表彰	9 人	2 チーム

⑤ ジュニアスポーツ応援事業

生涯スポーツ振興事業

令和 3 年度決算額	3,943 千円	令和 2 年度決算額	10,620 千円
------------	----------	------------	-----------

フェンシング競技とレスリング競技に特化して、ジュニアへの支援を継続しています。「東京 2020 オリンピック」では、フェンシング競技エペ団体に本市出身の山田選手が出場し、金メダルを獲得するなど、飛躍の年となりました。

これからも、一流アスリートが誕生するよう、バックアップできる環境づくりに努めていきます。

⑥ 三重とこわか国体の開催とレガシーの継承

国民体育大会事業

令和 3 年度決算額	6,847 千円	令和 2 年度決算額	1,695 千円
------------	----------	------------	----------

東京 2020 オリパラ
推進事業

令和 3 年度決算額	3,654 千円	令和 2 年度決算額	41 千円
------------	----------	------------	-------

「三重とこわか国体」フェンシング競技の実施に向けて準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大により、県が「緊急事態宣言」の発令を要請したことから中止となりました。

本大会を盛り上げるため、市内各小学校を巡回して「炬火イベント」や「チャンバラフェンシング教室」を実施するほか、三重県を訪れる高知県・群馬県の選手団に向けた応援動画を鳥羽東中学校及び加茂中学校の生徒の協力を得て作成することができました。

また、「東京 2020 オリンピック」では、「三重とこわか国体」にも出場が予定されていた、フェンシング山田優選手のオリンピック出場を受けて応援体制を整えたほか、金メダル獲得後には祝賀イベント等を実施しました。

会議等の開催

名称	開催回数	主な内容
輸送交通専門委員会	1 回	輸送案内
宿泊衛生専門委員会	1 回	配宿業務、弁当調製
競技式典専門委員会	1 回	競技実施要項、日程表、組合せ表
総務企画専門委員会	1 回	炬火イベント、とこわか運動、服飾
常任委員会	1 回（書面）	専門委員会における調査審議事項
総会	2 回（書面）	第 4 回 事業報告、収支決算、事業計画、収支予算など
総会（解散総会）		第 5 回 事業報告、収支決算など

炬火イベント

実施場所	内容
加茂小学校、菅島小学校、安楽島小学校 答志小学校、神島小学校、鳥羽小学校 弘道小学校	マイギリを使用して、オリンピック聖火にあたる三重とこわか国体・とこわか大会のシンボルとなる炬火を採火

啓発イベントの開催・関係機関等の連携イベント

名称	参加人数	実施場所
フェンシング普及事業	26 人	鳥羽小学校
チャンバラフェンシング教室	344 人	かもめ幼稚園、安楽島小学校 加茂小学校、鳥羽小学校
チャンバラフェンシング及び フェンシング教室	52 人	鳥羽市民体育館サブアリーナ

その他

名称	実施場所	内容
代表合宿の受け入れ	市民体育館	競技力の向上を目的に、三重県国体出場予定者も参加した、男女エペナショナルチームの鳥羽キャンプの受け入れ
花の植栽活動	市民体育館	鳥羽商工会議所女性部による花の植栽活動

⑦ スポーツ用具などの計画的な整備

運動施設管理運営事業

令和3年度決算額	40,494 千円	令和2年度決算額	53,994 千円
----------	-----------	----------	-----------

「三重とこわか国体」フェンシング競技の開催予定会場であったメインアリーナ及びサブアリーナに配備する備品（フェンシングピスト台・照明機器等）を購入し、利便性の向上と環境整備に努めました。

⑧ 市民がつながる機会づくり

地域おこし企業人推進事業

令和3年度決算額	5,655 千円	令和2年度決算額	2,856 千円
----------	----------	----------	----------

運動施設の運営管理に指定管理者制度を活用し、民間のノウハウやアイデアを活かした自主事業の実施など、行き届いた市民サービスと効果的な施設の利活用を心掛けました。

自主事業の内容は、生涯学習講座（13 講座：参加者数 865 人）、スポーツ教室、文化事業（朗読会）などの実施となっています。

また、地域おこし企業人では、関係各課でワーキンググループを設けて、中央公園等を中心とした賑わいづくりの創出について検討しました。

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和3年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
運動施設利用者数（市内在住者）	31,196 人	58,358 人	52,000 人
運動施設利用者数（市外からの利用）	1,717 人	4,714 人	3,000 人
総合型地域スポーツクラブ数	1 団体	2 団体	3 団体

【自己評価と今後の取組み】

- ・ 「三重とこわか国体」は残念ながら中止となりましたが、本大会を盛り上げるため小・中学生を中心に事業を実施しました。
- ・ 「東京 2020 オリンピック」にフェンシング競技の山田優選手が出場、さらに金メダルを獲得し、応援や祝賀イベントなど「三重とこわか国体」フェンシング競技と併せた事業展開を図ることができました。今後は、「三重とこわか国体」に向けて作り上げたレガシーの活用や、地域でのスポーツ活動が充実できるよう取り組んでいきます。

【委員からの意見等】

＜委員 A＞

■ 「三重とこわか国体」の中止と、それに伴う様々な行事の見直しはやむを得ないことであったと思われます。しかしながら、国体に向けて準備してきたことや、実施することができたイベント等をレガシーとして、今後の施策展開に活かしていただきたい。

なお、高齢者スポーツ・ジュニアスポーツへの継続的な支援とともに、市民全体がスポーツに親しみを持つことを目的とする啓発活動や支援活動をこれまで以上に展開していただくことを期待します。

＜委員 B＞

■ 結果として「三重とこわか国体」が中止になったことは、残念ではありましたが、それを実施すべく様々な事業が展開されたこと、そして、今後の発展につながるものの芽生えがそこにはありました。関係者の皆さんのご努力は有意義であったと思います。

【その他の施策】

寝屋子の島留学事業

1 目 的

この制度は、鳥羽市立答志小学校・答志中学校に島外（市外）から入学又は転学を希望する児童・生徒（以下「児童」という）を島親が受け入れる島親留学、保護者と移住してくる家族留学、祖父母のもとで孫を預かる孫留学を実施し、豊かな自然の中で相互の教育効果の向上を図るとともに、教育の振興充実を期することを目的とする。

2 募集基準及び決定方法

この制度により受け入れる児童は次のとおりとし、受け入れ前に寝屋子の島留学実施委員会（以下、「実施委員会」という）が面談の上、決定する。

- (1) 地域の環境を理解し、就学を希望する児童。
- (2) 第二のふるさとを求め、答志島の大自然の中で豊かな思い出を作ろうとする児童。
- (3) 少人数教育でしっかり学び、学力を伸ばしたい児童。
- (4) 答志中学校区に通学したことがない児童。
- (5) 市外に住所を有する児童であって、家族留学及び孫留学は小学1年生から中学3年生まで、島親留学は小学5年生から中学2年生までとする。
- (6) 実施委員会が認めた場合。

平成30年 家族留学1名（小学1年生）

令和元年 家族留学1名（継続） 島親留学2名（小学6年生）

令和2年 家族留学3名（小学4年生、中学1年生、中学3年生）
島親留学1名（中学2年生）

令和3年 孫留学1名（中学1年生：7月から）

令和4年 孫留学1名（継続）

令和2年度以降コロナウィルス感染症対策により、島親留学募集は見送り。

【委員からの意見等】

<委員A>

■新型コロナウイルス感染症の影響で島親留学が募集できなかったことはやむを得ないと思われます。ただし、新型コロナウイルス感染症収束後を見据えて、寝屋子の島留学事業のノウハウの継承や宣伝を継続していただきたいと思います。

<委員B>

■寝屋子の島留学事業の目的に鑑みて、相互の教育効果の向上と教育の振興充実が図られることを期待します。

【報告書全体を通しての意見】

＜委員 A＞

■前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う事業の中止や見直し、都度の判断が必要な事案も発生したかと思われます。新型コロナウイルス感染症が収束した後は、この期間の教育委員会活動を振り返り、総括することが有用と思われるため、教育委員会として準備していただきたいと思います。

＜委員 B＞

■長引く新型コロナウイルス感染症のなかで「できたこと」、「できなかったこと」はあったものの、本年度から一新された「第2次鳥羽市教育ビジョン」の良いスタートが切れたと思います。また、サブタイトル「多様な社会を生き抜く、知性・感性・理性にあふれた健康な市民の育成」の具現化に向けて、子どもを中心に据えて、関係機関がさらに深く連携していくことを望みます。